

平成 29 年 9 月 11 日

瀬戸内市議会議員長

原野 健一 様

瀬戸内市議会議員 角口 隼一

### 政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期間	平成 29 年 9 月 22 日
研修会名	超少子高齢化・地域消滅の時代における地方議会 研修 1 あるべき地方議会改革とは 研修 2 自治体ガバナンス改革と地方議会
開催場所	TKPガーデンシティ熊本
研修目的・ 内容	<p>あるべき地方議会改革とは・自治体ガバナンス改革と地方議会</p> <p>① 役所のスキーマを理解し、どのように動かすのかを考えるのが議員の仕事 役所の考え方を理解することは住民と役所をつなぐ議員の役割の中でも大切な事柄である。そのことを理解した上で行政を動かすことが必要である。</p> <p>② 事務分掌を理解することと、市民目線でその更新を働きかけることとは 事務分掌を正確に実行することが職員の果たす役割ということをしつかりと認識した上で、行政を動かすことが重要である。行政を変革したいのであれば、事務分掌を書き換えるだけのデータと資料をもって働きかけを行うことが最も重要なことであることを自覚しなければいけない。</p> <p>③ 時代の変化に対応するための役所の動かし方について 市民の意識改革と議会及び議員の役割の認識を行わなければ、この時代の変化が著しい現代に対応できる役所にはならないことを理解し、よりレベルの高い議論と住民意識を変えることができる議員になるために努力を惜しんではならないことを理解しなければならない。</p>



	<p>④ 行政改革を行ってきたことによる功罪とは 職員数の過度な減少が起こったことにより必要な現場に必要な人員の職員配置ができていない状況を理解し、そのような状況を変えなければ、住民も職員も幸せになることができないことを理解し、議員として果たすべき役割を認識して動くことが重要である。</p> <p>⑤ 本質的な問題解決に至るために行政と住民、議員の関わり合い方とは 最も大切なことは対話であるコミュニケーションである。このコミュニケーションを密にとることによって、共感レベルを高め、問題に対応ができる行政、議会、住民として機能することができる。そうでなければ、コミュニケーションで伝わり間違いによる誤謬がおきるということを認識しておくべきである。</p> <p>⑥ 議会報告の在り方の方向性とは 報告を中心とするのではなく、ワークショップ手法を導入し、住民とのギャップを埋めることが行われている議会も存在する。問題の解決策を模索するのではなく、問題解決のためのハードルとなる障壁を共有することが住民との共感に結び付く第一歩である。</p>
所感	<p>城西大学経営学部教授 伊関友伸 講師による講座については、3年前に病院経営について示唆に富んだ内容の講座を拝聴することができ、診療報酬と地域医療の在り方、また、自治体病院の進むべき道標を示していただき、職員の増加、DPCの導入など病院経営に関する改革ができたことは非常に大きかったことであると痛感している。今回は、議会運営委員会の委員となったことから、議会改革についての研修を受講したが、以上の事柄を学習することができたことは、非常に価値のある研修であった。内容を深めてお話しすると枚挙にいとまがないが、行政の仕組みを知り、動かし方を理解できたことは非常に価値のある研修となった。</p>